



2021年7月21日
株式会社プロルート丸光

ニュースリリース

株式会社マイクロブラッドサイエンスと Vazyme Biotech Co.,Ltd とのモノクローナル抗体産生細胞株に関する個別契約締結協議開始ならびに日本展開専属チーム発足のお知らせ

当社子会社の株式会社マイクロブラッドサイエンス（本社：東京都千代田区 代表取締役：大竹 圭以下、「MBS」）は、Vazyme Biotech Co.,Ltd（以下、「ヴァゼム社」）と2021年6月25日に締結した「日本展開における特定分野の独占的包括提携契約」の中で、新型コロナウイルス治療薬の元となるモノクローナル抗体産生細胞株（以下、「産生細胞株」）の日本における開発展開のサポートを独占的に担っております。MBSでは本契約に基づき、資料・データの収集・分析を行い、外部機関との臨床を進める為、株式会社JSMGと共同開発及び販売に関する業務に関する基本契約を締結し、製薬企業や他の研究機関へのアプローチを開始しておりますが、その中で得られた良好な反応をヴァゼム社と共有しており、お互いの報酬体系を含めた個別契約の締結交渉を同時並行で開始した事をお知らせいたします。

また、日本で得られた良好な反応を経て、ヴァゼム社ではCEO Cao Linをトップとした日本専属対応チームの発足を行っておりますので、併せてお知らせいたします。

ヴァゼム社の産生細胞株に関して、2021年7月15日にMBSは株式会社JSMGと基本契約を締結しましたが、他の研究機関、製薬企業からの関心は高く、現在複数の企業・研究施設と機密保持契約の締結を行っている最中です。

ヴァゼム社の産生細胞株に関して、新たに明らかになった点としては、

- ・9つの産生細胞株全てにおいて、抗体医薬として上市の可能性を秘めていること。
- ・ヴァゼム社の抗体に関連する技術と実績が、開発スピードおよびそのスキルにおいて、世界トップレベルであること。

また、MBSが確認した実際の産生細胞株に関する契約の一例では、

- ・契約時の頭金として1,000万米ドル
- ・指定されたマイルストーン達成時に2億4500万米ドル（マイルストーン達成まで3カ月）
- ・製品化された後の売上高の10%以上の支払い

との契約である事が判明しました。エージェント報酬としては上記契約金額の全てにおいて15%が支払われる契約となっています。これらを参考に、MBSは日本企業の現状に即した契約締結を目指すと共に、具体的な個別契約締結に関してヴァゼム社との交渉を進めて参ります。

また、ヴァゼム社は2021年7月13日に上海証券取引所より上場承認完了の通知を受けており、国際展開を加速させようとする中で今回の日本市場での反応を好感しており、CEO自身がトップを務める専属チームを社内にて発足させました。

MBSでは、ヴァゼム社の産生細胞株に関して、

- ① 有望と想定される産生細胞株に関し他国企業との共同開発のアプローチを行う。
- ② 他の有望株を日本の製薬企業独占で研究していけるようアプローチを行う。

ことを検討してはおりますが、現在の進捗状況を踏まえて、上記に加え

- ③ 有望な産生細胞株に関するクローズドオークション参加へのアプローチを視野に入れて、具体的なアプローチを加速して参ります。

参考

マイクロブラッドサイエンス、新型コロナウイルス治療薬の元となるモノクローナル抗体産生細胞株について MBS 内における評価を完了

<https://www.value-press.com/pressrelease/275699>

マイクロブラッドサイエンス、JSMG社とモノクローナル抗体産生細胞株の共同研究に関する基本契約を締結

<https://www.value-press.com/pressrelease/276166>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社プロルート丸光 管理本部

TEL : 06-6262-0303